



令和3年度 第7号 令和3年11月10日

鶴 星

阿久根市立鶴川内中学校

校 訓

スクールコンセプト

ともに夢と希望を育む鶴川内中

協 自 自
調 律 主

一 校 一 風

育てよう花と心と大きな夢を

校長室の窓から 県民週間，文化祭，成長の軌跡

校長 中山 武広

「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」に際して，本校も11月初旬にフリー参観の期間を設けましたが，新型コロナウイルス感染防止のため，昨年度同様に一通りの周知にとどめ，積極的な広報は控えさせていただきました。現在，県内外ともに新規感染者数が激減しており，コロナ収束を期待してしましますが，期待が現実のものとなり，来年度の県民週間の際には多くの来訪者で校内が賑わうことを願うばかりです。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

文化祭も，コロナ対応のために2年連続で規模を縮小し，入場者を制限しての開催となりました。従来の16演目が，昨年度は12演目，今年度は9演目でした。では，演目が少なくなった分，見応えも少なくなったかといえば全くそうではなく，逆に，一つ一つの完成度が高まり，見応えも聞き応えも十分すぎるものに仕上がっていました。「カスミクラブ活動発表」，「国語弁論」，「英語スピーチ」，「各学年劇」，「全体合唱」等，すべてに目と耳と心を奪われっぱなしだったような気がします。特に，各学年劇では生徒個々の意外な一面や豊かな表情が存分にうかがえるため，身を乗り出して，一人一人の演技に見入り，発するセリフに聞き入ってしまいました。

1年劇『桜ななたび』は，1年生らしい新鮮さと1年生らしからぬ名演技で，戦争の愚かさや平和の尊さをしっかりと伝えました。2年劇『夕輝～ぼくの生きていた証』は，新境地を開いた2年生が，シリアスとコミカルを巧みに演じ分け，友情と家族愛を問い直していました。3年劇『ふるさと』は，3年生が，いびつで複雑な人間関係を安定感ある演技力で見事に表現し，クラスの絆と郷土愛の深まりを演じきりました。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

学年劇については，おぼろげながらも昨年度・一昨年度の各学年劇の様子を思い出すことができます。例えば，今回の3年劇を観ながら，私の脳裏には，1年時劇『魔術』，2年時劇『Alice より』の場面が断片的に浮かんでいました。『ふるさと』に感動しつつ，私は，「あの1年生，あの2年生が，この3年生になった」という事実にも感動していたのです。2年生もしかし，1年時劇『戦争を知らない子どもたち』の初々しさが思い出され，「あの1年生が，この2年生になった」ということにも感動していたのです。来年はきっと，2年劇を観ながら，現1年生のさらなる成長にも感動しているはずです。

文化祭は日頃の学習成果の一端を生徒の姿を通して公開する機会ですが，生徒一人一人の成長の軌跡を刻む機会でもあるとも考えます。特に，学年劇には，生徒個々の成長の軌跡とともに，学級集団の成長の軌跡が刻まれるように感じます。来年度は，学年劇を含め，鶴中文化祭を多くの皆様にご披露できればと存じます。

主な行事予定

月	日	曜	11月～12月の主な行事
	11	木	立会演説会
	12	金	SC(スクールカウンセラー)来校(午前)
	13	土	地域ボランティア活動
	17	水	部活動停止(～25日)
	18	木	3年学級PTA・進路説明会
11	19	金	グリーンタイム
	22	月	期末テスト(～25日) 3年三者面談(～26日)
	26	金	九州電力出前授業
	29	月	健康教室・学校保健委員会
	30	火	生徒会引継式・英検IBA
	3	金	PTA学習会
	6	月	3年幼児と触れ合う活動
12	11	土	校内持久走大会 1,2年学級PTA
	12	日	PTA門松づくり

受賞しました！おめでとうございます！

- 市児童生徒理科作品審査会
 - 特選 奥園こゆき，坂松 星空(2)
 - 入選 木下 和哉，前田 龍，若松 夢空(1)
- 校内手帳甲子園
 - 手帳活用部門
 - 若松 夢空(1) 宮前風綺夢(1)
 - 山下 太一(3)
 - 表紙デザイン部門
 - 山下和太瑠(2) 青木椿花南(3)
 - 若松 夢月(3) 冨吉 もえ(3)



令和3年度文化祭

10月31日(日)に、文化祭がありました。
テーマ「For One Dream」



他の生徒と協力して日頃の学習や活動の成果を発表したり、美しいものや地域や我が国の伝統文化に触れたりして、自他の個性を認め、互いに高め合うこと。そして、集団や社会の形成者として新たな文化の創造に寄与しようとする態度や自己の成長を振り返り、自己を一層慎重させようとする態度を養うことを目的とした文化祭。

各学年の劇、合同合唱、弁論、英語暗唱、カスミクラブ発表、生徒会によるオープニング、エンディング、各教科の作品展示、校内手帳甲子園が行われました。

令和3年度全国学力・学習状況調査結果

中3を対象に実施され、2年ぶりに全国平均の結果が公表されました。

	本校	県平均	県との比較	全国平均	全国との比較
国語	72.0	64.0	+8.0	64.6	+7.4
数学	60.0	56.0	+4.0	57.2	+2.8

全国約 903,200 人、県約 12,900人での結果です。経年比較からも生徒の力がついてきていることがわかります。各項目で分析を行った結果、問題場面における考察の対象や話合いの話題・方向を的確に捉え、読み取れるようにするとともに、捉えたことを言葉や式を用いて、適切に表現することについても今後さらに指導していきます。

★文化祭を終えて(中途半端は笑われるが、精一杯やる人は応援したくなる。)

2012年、夏の甲子園。31年ぶりにベスト8に入った高校でのエピソードである。4月に赴任した監督が徹底させたことのひとつが“あいさつの仕方”。当時、記録員としてベンチに入っていた生徒が、「それまで“おざっす”と言っていたのを“おはようございます”、“ちわ”と言っていたのを“こんにちは”言うようになった。監督は“ちゃんと日本語をしゃべれ。そこまでやってホンモノだ”と言います。日本語を言うようになったら、野球部以外の他の先生方にも応援してもらえるようになりました。甲子園に来たのも強豪チームに勝てたのも技術よりそこかなと思います。」とインタビューに答えていた。

そして、甲子園出場をかけた県予選の準決勝。1対2で負けた状態で9回を迎え、さらに1死満塁のピンチ…。ここで雷雨により試合は中断。一向に止む気配のない雨に、ほとんどの人が雨天コールドで相手チームの勝ちだと思っていた。しかし、あきらめていなかったのがスタンドで応援していた3年生部員。最後の大会でユニフォームがもらえず、ゲームにも出ることもできず、負ければ引退していく3年生が率先してドロドロになりながら、グラウンド整備を始めた。1時間28分後、再開された試合…。このピンチを乗り切り、9回裏逆転サヨナラ勝ち。試合後の監督のコメントは、「スタンドの3年生のおかげで勝たせてもらった。」大事な時に手を抜いたり、いい加減にしたりすることはないだろう。サッカー選手がサッカーを一生懸命にやるのは当たり前。でも、その時間以外にどんなことを心がけ、どのように過ごしているかが力になる。このことが大きく影響していることに気付くかどうかだ。挨拶がよいからといって勝てるわけではないし、技術が上達することはない。ただ、始まり、終わりの挨拶で各教科の点数が上がる技術や知識を得られるわけではない。しかし、それでどう変わるかは想像できる。つまり、何事にも中途半端にせず、Doing(やること、行動)と Being(存在、目的)を共に大切にすること。中途半端は笑われるが、何事も精一杯やって、応援したくなる36人でいたい。

不審者対策教室

11月5日(金)に、不審者対策を学びました。



警察署の方を迎え、不審者の対応の際は、距離をとることや、「いかのおすし」の基本、腕をつかまれた際の振り払い方等を学びました。通学路での危険箇所も意識するグループ活動も行いました。遭った場合、迷わず、通報を行うようにしましょう。

お知らせ

学校の統・廃合に係る説明・意見交換会が開催されます。

保護者・地域住民の合同説明・意見交換会を開催し、今後の学校の統・廃合の在り方等について説明を行い、意見等を伺うこととしています。つきましては、下記の日程で開催されます。多くの保護者の皆様の御参加をよろしくお願いいたします。

月日	曜	時間	会場	関係学校
12月9日	木	19:00~	山村開発センター	田代小、鶴川内中
12月15日	水	19:00~	鶴川内地区集会施設	鶴川内小、鶴川内中
12月22日	水	19:00~	折多地区集会施設	折多小、鶴川内中